

「竹島に関する世論調査」の概要

内閣府政府広報室

- 1 調査目的 竹島に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目 (1) 国家の要素
(2) 竹島に関する認知
(3) 竹島に対する関心
(4) 竹島に関する広報・啓発活動について
- 3 関係省庁 内閣官房（領土・主権対策企画調整室）
- 4 調査対象 (1) 母集団 全国 18 歳以上の日本国籍を有する者
(2) 標本数 3,000 人
(3) 抽出方法 層化 2 段無作為抽出法
- 5 調査時期 平成 29 年 7 月 13 日～7 月 23 日
- 6 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- 7 調査実施機関 一般社団法人 中央調査社
- 8 回収結果 (1) 有効回収数(率) 1,790 人 (59.7%)
(2) 調査不能数(率) 1,210 人 (40.3%)
—不能内訳—
転居 131 長期不在 85 一時不在 466
住所不明 26 拒否 440 被災 0
その他 62
(病気など)

9 性・年齢別回収結果

性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率
			%				%				%
男 18～19歳	60	29	48.3	18～19歳	36	19	52.8	18～19歳	24	10	41.7
20～29歳	319	125	39.2	男 20～29歳	149	50	33.6	女 20～29歳	170	75	44.1
女 30～39歳	385	201	52.2	30～39歳	188	83	44.1	30～39歳	197	118	59.9
40～49歳	541	315	58.2	40～49歳	289	152	52.6	40～49歳	252	163	64.7
計 50～59歳	454	287	63.2	50～59歳	236	139	58.9	50～59歳	218	148	67.9
60～69歳	537	369	68.7	性 60～69歳	264	172	65.2	性 60～69歳	273	197	72.2
70歳以上	704	464	65.9	70歳以上	301	202	67.1	70歳以上	403	262	65.0
計	3,000	1,790	59.7	計	1,463	817	55.8	計	1,537	973	63.3

10 本報告書で結果を引用した過去の世論調査は次のとおりである。

「竹島に関する特別世論調査」	(標本数)	(有効回収数)
平成 25 年 6 月調査	3,000 人 (全国 20 歳以上の者)	1,784 人
「竹島に関する世論調査」	(標本数)	(有効回収数)
平成 26 年 11 月調査	3,000 人 (全国 20 歳以上の者)	1,799 人

調査結果の概要

1 国家の要素

(1) 国家の要素の認知

国家は、一般的に「領域（領土・領海・領空）」・「住民」・「政府（実効的政治権力を確立している主体）」の3つの要素から成り立っているといわれているが、このことについて知っていたか聞いたところ、「知っていた」と答えた者の割合が66.1%、「知らなかった」と答えた者の割合が28.8%となっている。

性別に見ると、「知っていた」と答えた者の割合は男性で、「知らなかった」と答えた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「知っていた」と答えた者の割合は18～29歳で、「知らなかった」と答えた者の割合は30歳代で、それぞれ高くなっている。（図1、表1）

図1 国家の要素の認知

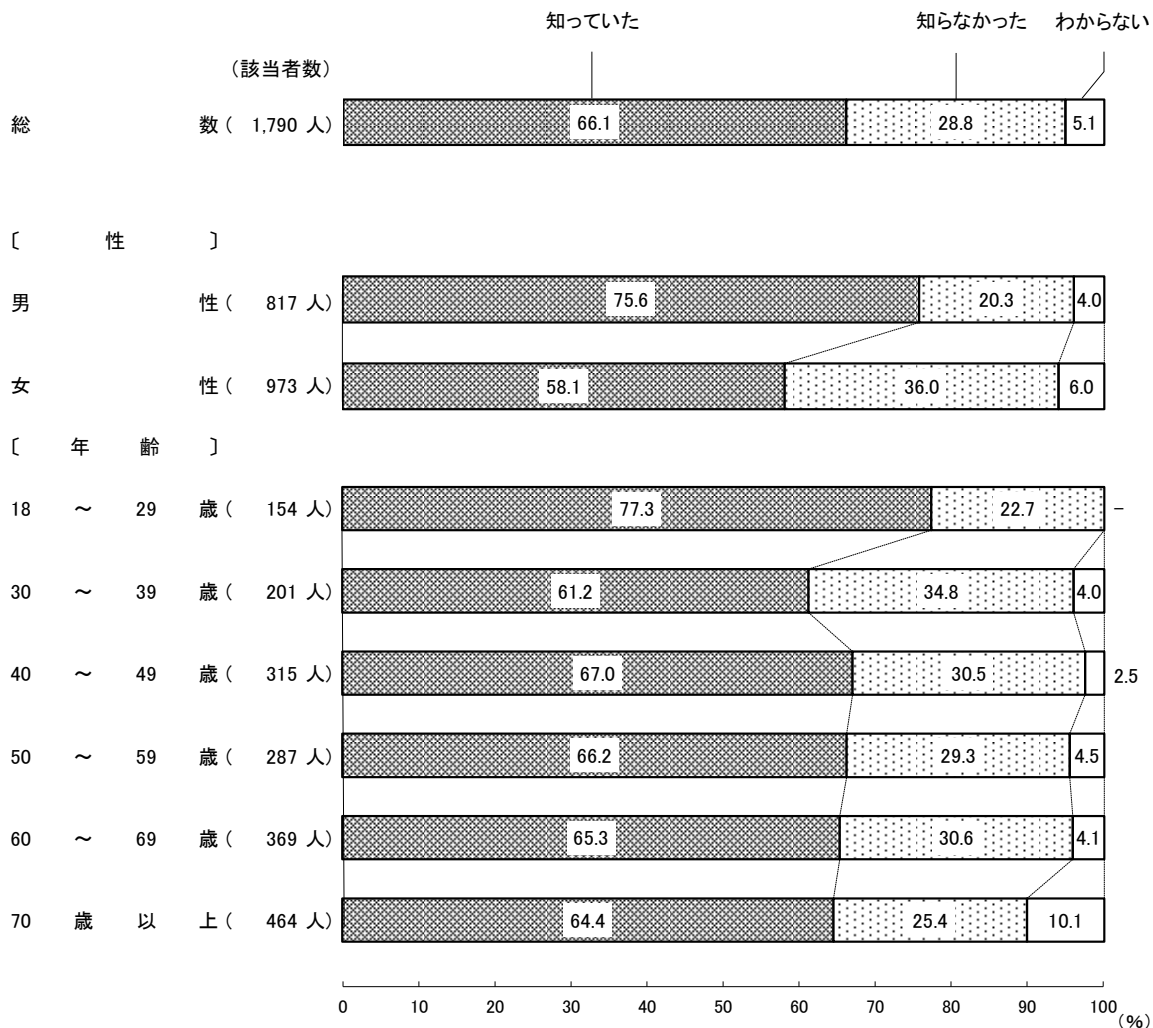


表1 国家の要素の認知

	該 当 者 数	知 っ て い た	知 ら な か っ た	わ か ら な い
	人	%	%	%
総数	1,790	66.1	28.8	5.1
〔都市規模〕				
大都市	427	67.2	28.1	4.7
東京都区部	79	78.5	16.5	5.1
政令指定都市	348	64.7	30.7	4.6
中都市	748	66.3	28.6	5.1
小都市	438	64.8	29.2	5.9
町	177	65.5	30.5	4.0
〔性〕				
男性	817	75.6	20.3	4.0
女性	973	58.1	36.0	6.0
〔年齢〕				
18～29歳	154	77.3	22.7	-
30～39歳	201	61.2	34.8	4.0
40～49歳	315	67.0	30.5	2.5
50～59歳	287	66.2	29.3	4.5
60～69歳	369	65.3	30.6	4.1
70歳以上	464	64.4	25.4	10.1
〔従業上の地位〕				
雇用者	861	67.9	29.4	2.7
自営業主	136	71.3	23.5	5.1
家族従業者	46	71.7	26.1	2.2
無職	747	62.7	29.3	8.0
主婦	397	55.2	36.3	8.6
主夫	17	58.8	35.3	5.9
学生	45	82.2	15.6	2.2
その他の無職	288	70.1	21.5	8.3
〔職業〕				
管理・専門技術・事務職	459	71.5	27.7	0.9
管理職	71	83.1	15.5	1.4
専門・技術職	196	73.0	26.0	1.0
事務職	192	65.6	33.9	0.5
販売・サービス・保安職	283	64.7	30.7	4.6
農林漁業職	53	69.8	24.5	5.7
生産・輸送・建設・労務職	244	68.0	28.3	3.7
無回答	4	25.0	25.0	50.0

表1－参考 国家の要素の認知

	該 当 者 数	知 っ て い た	知 ら な か っ た	わ か ら な い
	人	%	%	%
平成26年11月調査	1,799	63.9	30.9	5.2
平成29年7月調査 (うち20歳以上)	1,761	65.7	29.1	5.2
平成29年7月調査	1,790	66.1	28.8	5.1

2 竹島に関する認知

(1) 竹島の認知

竹島という島があることを知っていたか聞いたところ、「知っていた」と答えた者の割合が93.8%、「知らなかった」と答えた者の割合が4.8%となっている。

性別に見ると、「知っていた」と答えた者の割合は男性で高くなっている。

年齢別に見ると、「知っていた」と答えた者の割合は50歳代で高くなっている。

(図2、表2)

図2 竹島の認知

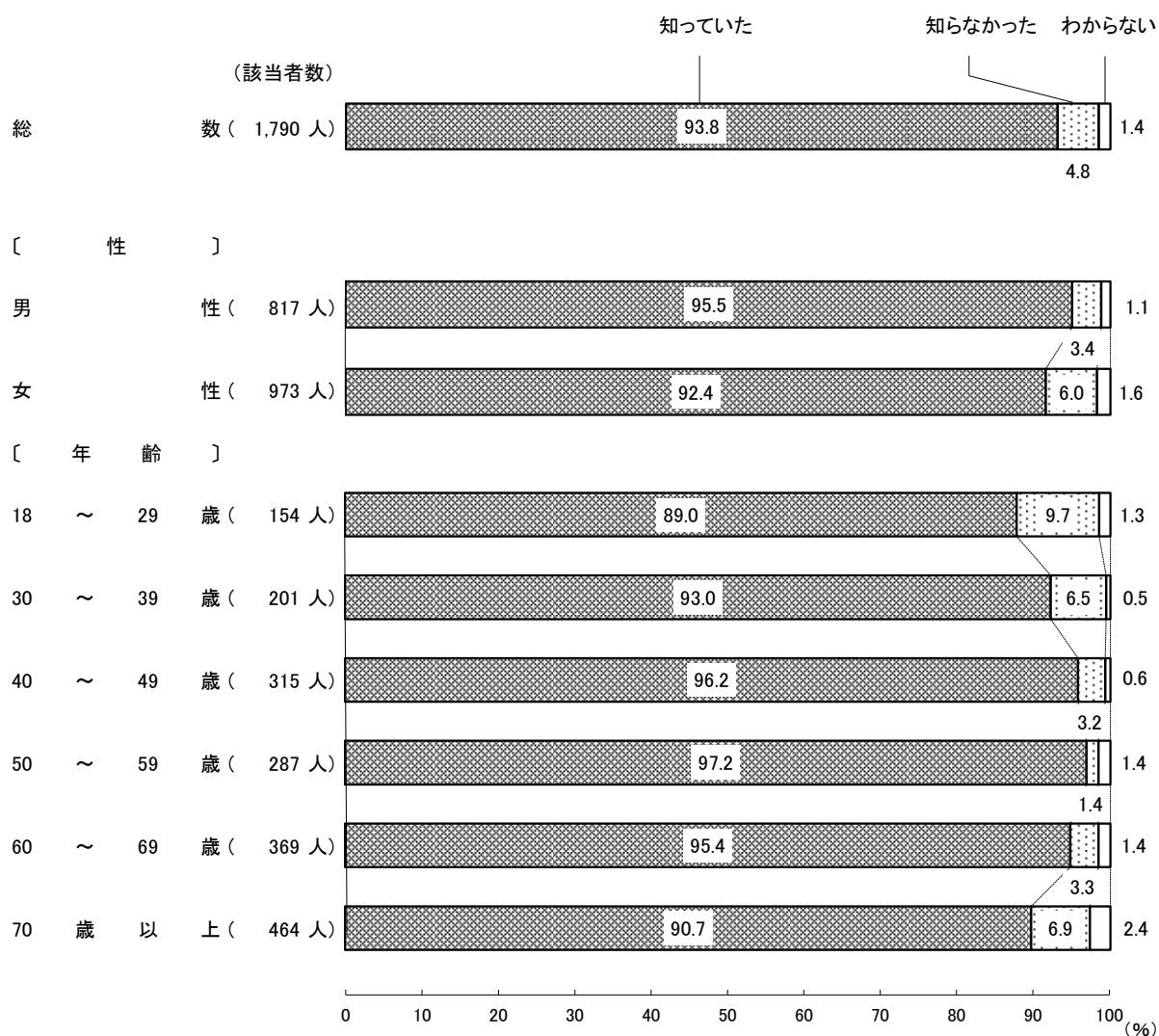


表2 竹島の認知

	該 当 者 数	知 っ て い た	知 ら な か っ た	わ か ら な い
	人	%	%	%
総数	1,790	93.8	4.8	1.4
〔都市規模〕				
大都市	427	95.3	2.8	1.9
東京都区部	79	92.4	2.5	5.1
政令指定都市	348	96.0	2.9	1.1
中都市	748	94.8	3.9	1.3
小都市	438	91.3	7.3	1.4
町村	177	92.1	7.3	0.6
〔性別〕				
男性	817	95.5	3.4	1.1
女性	973	92.4	6.0	1.6
〔年齢〕				
18～29歳	154	89.0	9.7	1.3
30～39歳	201	93.0	6.5	0.5
40～49歳	315	96.2	3.2	0.6
50～59歳	287	97.2	1.4	1.4
60～69歳	369	95.4	3.3	1.4
70歳以上	464	90.7	6.9	2.4
〔従業上の地位〕				
雇用者	861	95.5	3.9	0.6
自営業主	136	93.4	4.4	2.2
家族従業者	46	100.0	-	-
無職	747	91.6	6.2	2.3
主婦	397	92.4	5.3	2.3
主夫	17	94.1	-	5.9
学生	45	86.7	11.1	2.2
その他の無職	288	91.0	6.9	2.1
〔職業〕				
管理・専門技術・事務職	459	97.4	2.0	0.7
管理職	71	98.6	1.4	-
専門・技術職	196	98.5	1.0	0.5
事務職	192	95.8	3.1	1.0
販売・サービス・保安職	283	93.6	5.7	0.7
農林漁業職	53	98.1	1.9	-
生産・輸送・建設・労務職	244	93.9	5.3	0.8
無回答	4	50.0	25.0	25.0

表2-参考 竹島の認知

	該 当 者 数	知 っ て い た	知 ら な か っ た	わ か ら な い
	人	%	%	%
平成25年6月調査	1,784	94.5	5.1	0.4
平成26年11月調査	1,799	95.1	4.1	0.8
平成29年7月調査 (うち20歳以上)	1,761	94.0	4.7	1.4
平成29年7月調査	1,790	93.8	4.8	1.4

ア 竹島に関して知っていたこと

竹島という島があることを「知っていた」と答えた者（1,679人）に、竹島に関して、知っていたことを聞いたところ、「竹島は我が国固有の領土であること」を挙げた者の割合が78.7%と最も高く、以下、「竹島には現在も韓国が警備隊員などを常駐させるなどして不法占拠を続けていること」（63.1%）、「竹島は日本海南西部に位置していること」（60.2%）、「我が国が、韓国側が竹島に関する何らかの措置を行う度に、韓国に対して抗議していること」（59.5%）、「竹島は島根県に属すること」（58.0%）などの順となっている。（複数回答、上位5項目）

都市規模別に見ると、「竹島は日本海南西部に位置していること」を挙げた者の割合は大都市で、「我が国が、韓国側が竹島に関する何らかの措置を行う度に、韓国に対して抗議していること」を挙げた者の割合は中都市で、それぞれ高くなっている。

性別に見ると、「竹島には現在も韓国が警備隊員などを常駐させるなどして不法占拠を続けていること」、「竹島は日本海南西部に位置していること」、「我が国が、韓国側が竹島に関する何らかの措置を行う度に、韓国に対して抗議していること」、「竹島は島根県に属すること」を挙げた者の割合は男性で高くなっている。

年齢別に見ると、「竹島は日本海南西部に位置していること」、「竹島は島根県に属すること」を挙げた者の割合は60歳代で、「我が国が、韓国側が竹島に関する何らかの措置を行う度に、韓国に対して抗議していること」を挙げた者の割合は50歳代で、それぞれ高くなっている。

（図3、表3）

図3 竹島に関して知っていたこと

(「知っていた」と答えた者に、複数回答)

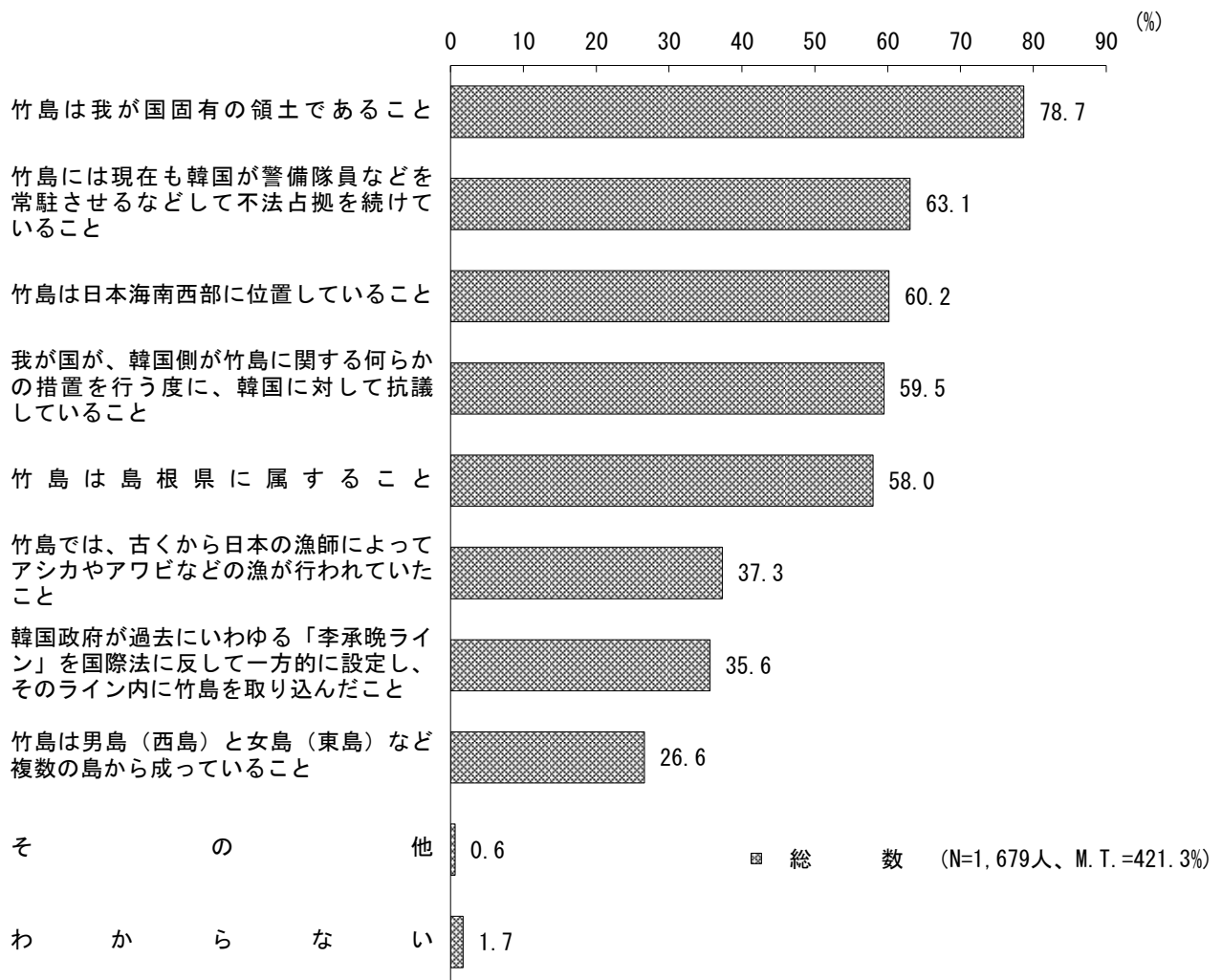


表3 竹島に関して

	該 当 者 数	竹島は我が国固有の領土であること	竹島には現在も韓国が警備隊員などを常駐させるなどして不法占拠を続けていること	竹島は日本海南西部に位置していること	我が国が、韓国側が竹島に関する何らかの措置を行うに、韓国に対して抗議していること	竹島は島根県に属すること
	人	%	%	%	%	%
総数	1,679	78.7	63.1	60.2	59.5	58.0
〔都市規模〕						
大都市	407	79.9	63.6	65.4	60.4	56.3
東京都区	73	89.0	57.5	67.1	60.3	56.2
政令指定都市	334	77.8	65.0	65.0	60.5	56.3
中都市	709	79.1	65.4	60.4	63.0	59.7
小都市	400	79.3	61.8	57.3	54.8	57.8
町	163	73.0	54.6	54.0	53.4	55.2
〔性別〕						
男性	780	80.4	71.7	67.4	65.8	68.5
女性	899	77.3	55.6	53.9	54.1	48.8
〔年齢〕						
18～29歳	137	70.1	56.2	52.6	63.5	42.3
30～39歳	187	78.1	60.4	52.4	56.7	44.9
40～49歳	303	81.2	66.7	62.4	63.0	59.1
50～59歳	279	77.8	68.1	64.9	65.2	62.7
60～69歳	352	82.4	65.1	68.5	60.5	64.5
70歳以上	421	77.7	58.9	54.6	52.3	59.4
〔従業上の地位〕						
雇用者	822	77.9	65.8	62.5	64.1	57.9
自営業主	127	82.7	66.9	63.8	57.5	66.1
家族従業者	46	89.1	56.5	58.7	63.0	58.7
無職	684	78.4	59.5	56.9	54.1	56.4
主婦	367	81.2	53.1	52.6	49.0	48.8
主夫	16	81.3	62.5	56.3	75.0	68.8
学生	39	66.7	51.3	61.5	64.1	35.9
その他の無職	262	76.0	69.5	62.2	58.4	69.5
〔職業〕						
管理・専門技術・事務職	447	79.2	70.9	69.8	69.6	64.2
管理職	70	91.4	88.6	84.3	72.9	84.3
専門・技術職	193	74.1	67.9	69.9	70.5	65.8
事務職	184	79.9	67.4	64.1	67.4	54.9
販売・サービス・保安職	265	75.8	62.3	58.5	56.6	53.2
農林漁業職	52	88.5	51.9	51.9	55.8	55.8
生産・輸送・建設・労務職	229	79.9	61.6	55.0	59.8	55.9
無回答	2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

知っていたこと

(「知っていた」と答えた者に、複数回答)

漁に竹島 が行つては、 アシカやア ワビなどの 漁師	反李承晩 ラインに竹 島を取り込 んだこと	韓政府が過 去にいわゆ る	竹島は男島 (西島)と女 島	そ の 他	わ か ら な い	計 (M. T.)
%	%	%	%	%	%	%
37.3	35.6	26.6	0.6	1.7	421.3	
34.6	32.9	25.3	0.5	2.5	421.4	
31.5	27.4	21.9	-	-	411.0	
35.3	34.1	26.0	0.6	3.0	423.7	
38.6	36.7	27.2	0.3	1.7	432.2	
39.3	37.3	28.8	1.3	1.3	418.5	
33.1	33.7	21.5	0.6	1.2	380.4	
44.2	45.6	31.9	0.1	1.2	476.8	
31.3	26.9	21.9	1.0	2.2	373.1	
15.3	19.7	14.6	0.7	2.2	337.2	
25.7	28.9	23.5	0.5	3.2	374.3	
32.3	31.0	21.5	1.0	1.0	419.1	
41.9	35.8	29.0	0.4	1.1	447.0	
48.0	46.0	30.1	0.6	1.1	466.8	
41.1	38.2	30.9	0.5	2.4	415.9	
34.9	33.6	24.9	0.7	1.3	423.7	
44.1	40.2	30.7	-	1.6	453.5	
43.5	26.1	13.0	2.2	-	410.9	
38.5	37.9	28.7	0.4	2.3	413.0	
32.2	31.3	25.6	0.5	1.9	376.3	
31.3	43.8	31.3	-	-	450.0	
15.4	23.1	15.4	-	5.1	338.5	
51.1	48.9	34.7	0.4	2.7	473.3	
38.7	38.0	26.4	0.9	1.1	458.8	
52.9	55.7	37.1	-	-	567.1	
39.9	36.8	25.9	1.6	0.5	452.8	
32.1	32.6	22.8	0.5	2.2	423.9	
33.6	30.2	24.5	0.4	2.3	397.4	
40.4	21.2	21.2	-	-	386.5	
34.1	33.2	24.0	0.9	0.9	405.2	
100.0	100.0	50.0	-	-	750.0	

表3-参考 竹島に関して

	該 当 者 数	竹島は我が国固有の領土であること(注1)	竹島には現在も韓国が警備隊員などを常駐させるなどして不法占拠を続けていること	竹島は日本海南西部に位置していること	我が国が、韓国側が竹島に関する何らかの措置を行うに、韓国に対して抗議していること	竹島は島根県に属すること
	人	%	%	%	%	%
平成25年6月調査	1,685	※	63.1	58.9	53.1	62.0
平成26年11月調査	1,711	77.0	63.7	61.4	54.6	60.0
平成29年7月調査 (うち20歳以上)	1,655	78.9	63.2	60.3	59.6	58.3
平成29年7月調査	1,679	78.7	63.1	60.2	59.5	58.0

(注1) 平成25年6月調査では、「竹島は歴史的にも国際法上も明らかに我が国固有の領土であること」となっている。
(回答比率60.7%)。

(注2) 平成26年11月調査までは、「竹島は東島(女島)と西島(男島)の2つの島などから成っていること」となっている。

知っていたこと

(「知っていた」と答えた者に、複数回答)

漁によつては、古くから日本の漁師が行われていたこと	竹島では、古くから日本の漁師が行われていたこと	韓国政府が過去にいわゆる「李承晩ライン」を設定し、その間に一方的に竹島を取り込んだこと	竹島は男島(西島)と女島(東島)など複数の島から成っていること(注2)	その他	わからない	計 (M. T.)
%	%	%	%	%	%	%
41.0	37.1	24.4	1.2	2.1	403.6	
42.3	34.0	28.9	0.4	2.3	424.4	
37.7	36.0	26.8	0.6	1.7	423.0	
37.3	35.6	26.6	0.6	1.7	421.3	

イ 竹島の認知経路

竹島という島があることを「知っていた」と答えた者（1,679人）に、竹島に関して、何から知ったか聞いたところ、「テレビ・ラジオ」を挙げた者の割合が94.8%と最も高く、以下、「新聞」（58.0%）、「雑誌・書籍」（14.0%）などの順となっている。（複数回答、上位3項目）

都市規模別に見ると、「雑誌・書籍」を挙げた者の割合は町村で高くなっている。

性別に見ると、「テレビ・ラジオ」を挙げた者の割合は女性で、「新聞」、「雑誌・書籍」を挙げた者の割合は男性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「新聞」を挙げた者の割合は60歳代、70歳以上で、「雑誌・書籍」を挙げた者の割合は60歳代で、それぞれ高くなっている。（図4、表4）

図4 竹島の認知経路

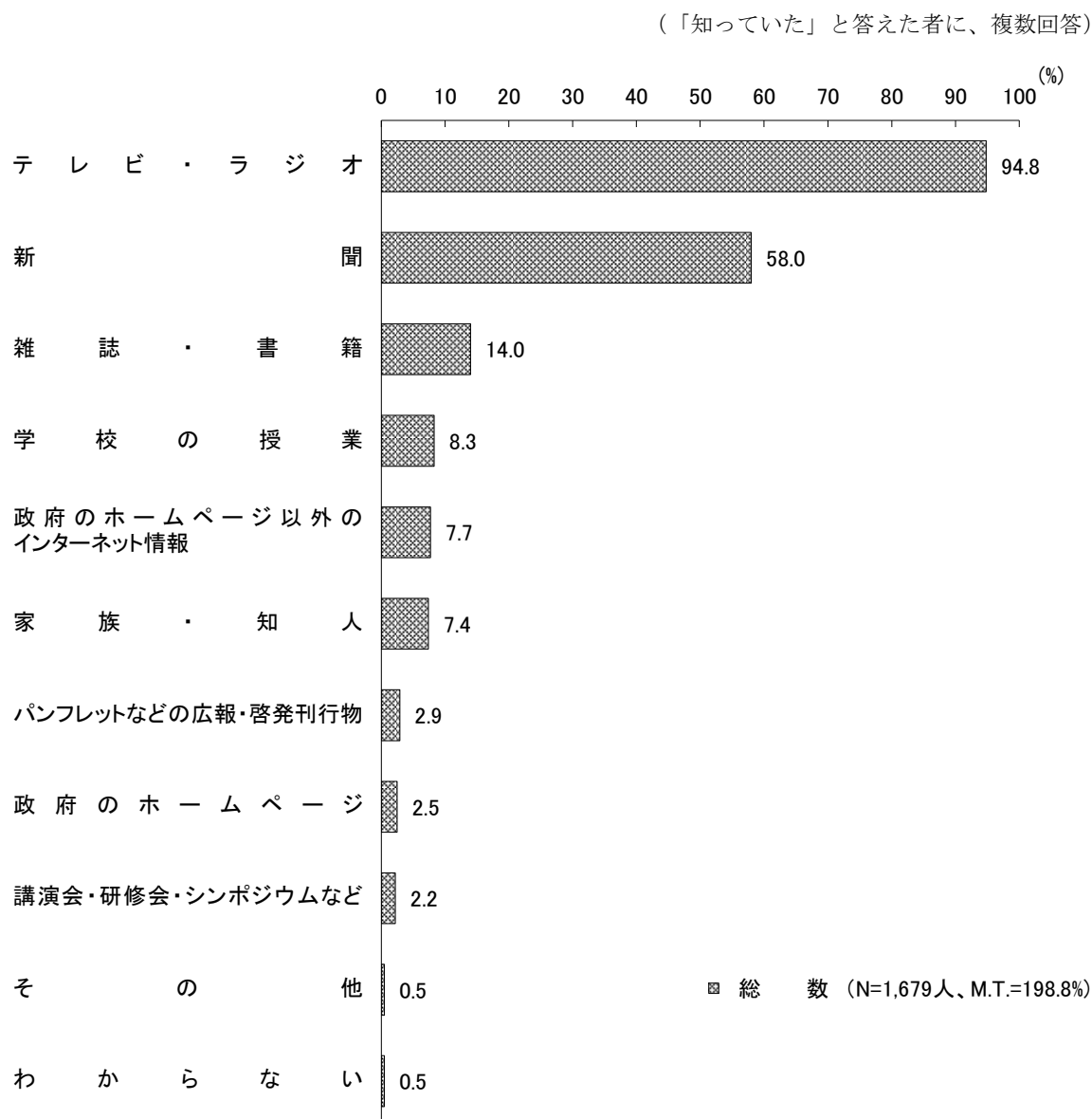


表4 竹島の認知経路

(「知っていた」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	新 聞	雑 誌 ・ 書 籍	学 校 の 授 業	政 府 の ホ ー ム ペ ー ジ 以 外 の 情 報	家 族 ・ 知 人	啓 発 刊 行 物	パ ン フ レ ッ ト な ど の 広 報 ・	政 府 の ホ ー ム ペ ー ジ	講 演 会 ・ 研 修 会 ・ シ ン ポ ジ ウム な ど	そ の 他	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,679	94.8	58.0	14.0	8.3	7.7	7.4	2.9	2.5	2.2	0.5	0.5	198.8	
[都市規模]														
大都市	407	93.9	56.0	15.2	7.6	8.6	7.9	1.7	3.2	2.2	0.5	1.0	197.8	
東京都	73	94.5	60.3	15.1	12.3	13.7	9.6	2.7	1.4	1.4	1.4	-	212.3	
政令指定都市	334	93.7	55.1	15.3	6.6	7.5	7.5	1.5	3.6	2.4	0.3	1.2	194.6	
中都市	709	95.1	60.5	13.8	10.4	7.8	6.8	3.0	2.8	2.3	0.3	0.3	203.0	
小都市	400	95.0	54.5	10.8	6.3	6.5	8.5	3.5	1.8	2.0	1.0	0.3	190.0	
町	163	95.7	60.1	19.6	6.1	8.6	6.1	4.3	1.2	2.5	-	0.6	204.9	
[性別]														
男性	780	93.3	64.1	20.4	7.9	12.4	6.3	4.2	3.7	4.0	0.6	0.1	217.2	
女性	899	96.1	52.6	8.5	8.7	3.7	8.3	1.8	1.4	0.7	0.3	0.8	182.9	
[年齢]														
18～29歳	137	89.8	28.5	5.8	35.0	10.9	2.2	1.5	0.7	1.5	-	-	175.9	
30～39歳	187	93.6	38.5	9.6	14.4	13.9	8.6	2.1	2.7	2.7	0.5	1.1	187.7	
40～49歳	303	94.4	55.4	11.2	8.3	11.6	6.9	2.0	3.0	-	0.7	0.3	193.7	
50～59歳	279	95.0	59.5	16.5	4.3	7.2	7.9	3.6	2.2	3.6	-	0.4	200.0	
60～69歳	352	96.6	69.9	19.9	4.0	6.8	8.5	3.4	2.6	2.3	0.3	0.6	214.8	
70歳以上	421	95.7	67.0	14.0	3.3	2.4	7.6	3.6	2.9	2.9	1.0	0.5	200.7	
[従業上の地位]														
雇用者	822	93.9	54.7	14.0	9.5	10.5	7.4	3.3	2.7	2.3	0.4	0.5	199.1	
自営業	127	97.6	61.4	14.2	6.3	7.9	6.3	-	1.6	1.6	-	0.8	197.6	
家族従業者	46	93.5	58.7	17.4	8.7	2.2	6.5	2.2	-	4.3	2.2	-	195.7	
無職	684	95.5	61.1	13.7	7.3	4.8	7.6	3.1	2.6	2.0	0.6	0.4	198.8	
主婦	367	97.8	58.6	8.2	5.4	1.6	7.9	1.4	1.4	0.3	0.3	0.5	183.4	
主夫	16	100.0	75.0	43.8	-	6.3	12.5	-	-	-	-	-	237.5	
学生	39	84.6	30.8	5.1	33.3	10.3	-	-	-	2.6	-	-	166.7	
その他の無職	262	93.5	68.3	21.0	6.5	8.4	8.0	6.1	5.0	4.6	1.1	0.4	222.9	
[職業]														
管理・専門技術・事務職	447	93.5	57.9	15.9	10.1	12.3	7.8	3.8	3.4	2.7	0.7	0.2	208.3	
管理職	70	90.0	67.1	27.1	2.9	10.0	4.3	2.9	1.4	5.7	1.4	-	212.9	
専門・技術職	193	95.3	62.7	16.6	9.3	14.0	8.8	4.7	4.1	1.0	0.5	-	217.1	
事務職	184	92.9	49.5	10.9	13.6	11.4	8.2	3.3	3.3	3.3	0.5	0.5	197.3	
販売・サービス・保安職	265	95.1	54.7	13.6	9.1	6.4	8.3	2.3	1.5	2.6	0.4	1.1	195.1	
農林漁業職	52	96.2	57.7	11.5	5.8	1.9	1.9	-	-	3.8	-	-	178.8	
生産・輸送・建設・労務職	229	95.2	52.4	12.2	7.9	10.0	6.1	2.2	2.2	0.9	-	0.4	189.5	
無回答	2	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	150.0	

表4-参考 竹島の認知経路

(「知っていた」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	新 聞	雑 誌 ・ 書 籍	学 校 の 授 業	政 府 の ホ ー ム ペ ー ジ 以 外 の イ ン タ ー ネ ッ ト 情 報 (注1)	家 族 ・ 知 人	パ ン フ レ ッ ト な ど の 広 報 ・ 啓 発 行 物	政 府 の ホ ー ム ペ ー ジ (注2)	講 演 会 ・ 研 修 会 ・ シ ン ポ ジ ウ ム な ど	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年6月調査	1,685	96.1	67.4	16.6	5.9	6.4	9.0	2.8	1.8	2.0	0.3	0.1	208.4
平成26年11月調査	1,711	96.3	65.6	16.7	6.3	9.2	10.1	3.3	2.9	2.6	0.5	0.4	213.9
平成29年7月調査 (うち20歳以上)	1,655	95.0	58.4	14.1	8.0	7.7	7.5	3.0	2.5	2.2	0.5	0.5	199.3
平成29年7月調査	1,679	94.8	58.0	14.0	8.3	7.7	7.4	2.9	2.5	2.2	0.5	0.5	198.8

(注1) 平成25年6月調査では、「首相官邸・外務省ホームページ以外のインターネット情報」となっている。

(注2) 平成25年6月調査では、「首相官邸・外務省ホームページ」となっている。

3 竹島に対する関心

(1) 竹島に対する関心度

竹島に関して、関心があるか聞いたところ、「関心がある」とする者の割合が 59.3%（「関心がある」21.6%＋「どちらかといえば関心がある」37.7%）、「関心がない」とする者の割合が 37.2%（「どちらかといえば関心がない」24.0%＋「関心がない」13.2%）となっている。

性別に見ると、「関心がある」とする者の割合は男性で、「関心がない」とする者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「関心がある」とする者の割合は 50 歳代、60 歳代で、「関心がない」とする者の割合は 18～29 歳、30 歳代で、それぞれ高くなっている。（図 5、表 5）

図 5 竹島に対する関心度

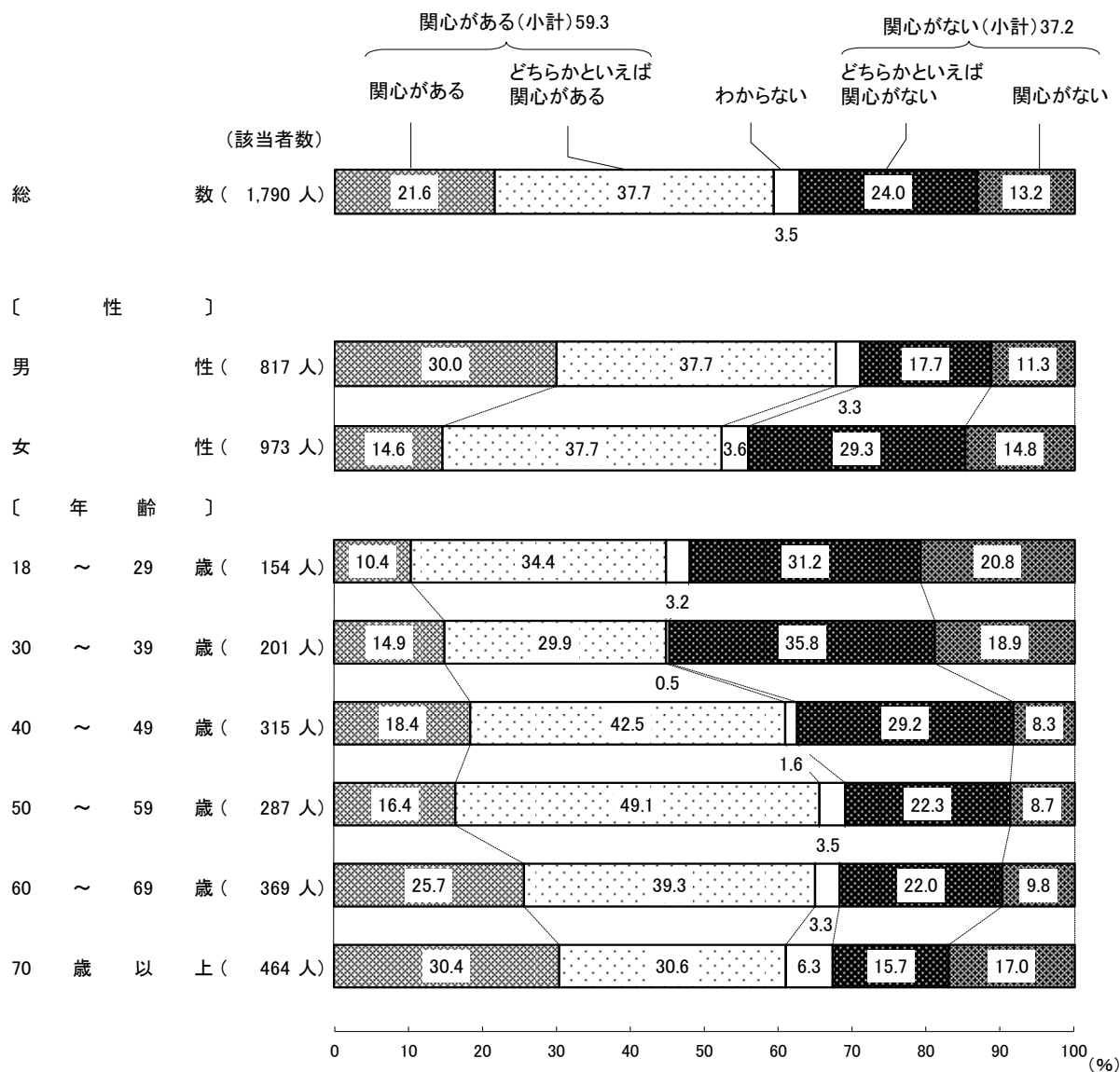


表5 竹島に対する関心度

	該 当 者 数	関 心 が			関 心 が			わ か ら な い
		(あ 小計) る	あ る	あ る ど ち ら か と い え ば 関 心 が	(な 小計) い	な い ど ち ら か と い え ば 関 心 が	な い	
	人	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕 大 都 市	1,790	59.3	21.6	37.7	37.2	24.0	13.2	3.5
東 京 都 区 部	427	62.5	22.0	40.5	34.0	22.0	11.9	3.5
政 令 指 定 都 市	79	64.6	26.6	38.0	31.6	15.2	16.5	3.8
中 都 市	348	62.1	21.0	41.1	34.5	23.6	10.9	3.4
小 都 市	748	59.5	22.9	36.6	38.4	25.8	12.6	2.1
町 村	438	57.5	18.5	39.0	36.5	23.1	13.5	5.9
〔性〕	177	55.4	23.2	32.2	41.8	23.7	18.1	2.8
男 性	817	67.7	30.0	37.7	29.0	17.7	11.3	3.3
女 性	973	52.3	14.6	37.7	44.1	29.3	14.8	3.6
〔年 齢〕								
18 ～ 29 歳	154	44.8	10.4	34.4	51.9	31.2	20.8	3.2
30 ～ 39 歳	201	44.8	14.9	29.9	54.7	35.8	18.9	0.5
40 ～ 49 歳	315	61.0	18.4	42.5	37.5	29.2	8.3	1.6
50 ～ 59 歳	287	65.5	16.4	49.1	31.0	22.3	8.7	3.5
60 ～ 69 歳	369	65.0	25.7	39.3	31.7	22.0	9.8	3.3
70 歳 以 上	464	61.0	30.4	30.6	32.8	15.7	17.0	6.3
〔従業上の地位〕								
雇 用 者	861	58.7	18.5	40.2	39.3	27.1	12.2	2.1
自 営 業 主	136	66.2	25.0	41.2	28.7	16.2	12.5	5.1
家 族 従 業 者	46	73.9	21.7	52.2	26.1	17.4	8.7	-
無 職	747	58.0	24.6	33.3	37.1	22.4	14.7	5.0
主 婦	397	54.7	17.6	37.0	40.3	25.9	14.4	5.0
主 夫	17	64.7	41.2	23.5	29.4	11.8	17.6	5.9
学 生	45	31.1	8.9	22.2	64.4	37.8	26.7	4.4
そ の 他 の 無 職	288	66.3	35.8	30.6	28.8	15.6	13.2	4.9
〔職 業〕								
管 理 ・ 専 門 技 術 ・ 事 務 職	459	67.5	23.3	44.2	30.5	23.7	6.8	2.0
管 理 職	71	81.7	40.8	40.8	16.9	14.1	2.8	1.4
専 門 ・ 技 術 職	196	69.9	21.9	48.0	27.6	21.4	6.1	2.6
事 務 職	192	59.9	18.2	41.7	38.5	29.7	8.9	1.6
販 売 ・ サ ー ビ ス ・ 保 安 職	283	53.0	18.4	34.6	43.8	29.3	14.5	3.2
農 林 漁 業 職	53	67.9	24.5	43.4	28.3	11.3	17.0	3.8
生 産 ・ 輸 送 ・ 建 設 ・ 労 務 職	244	53.7	12.3	41.4	44.7	26.6	18.0	1.6
無 回 答	4	50.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0

表5-参考 竹島に対する関心度

	該 当 者 数	関 心 が			関 心 が			わ か ら な い
		(あ 小計) る	あ る	あ る ど ち ら か と い え ば 関 心 が	(な 小計) い	な い ど ち ら か と い え ば 関 心 が	な い	
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成25年6月調査	1,784	71.1	27.5	43.6	28.0	18.1	9.9	1.0
平成26年11月調査	1,799	66.9	26.3	40.6	30.7	21.1	9.6	2.4
平成29年7月調査 (うち20歳以上)	1,761	59.8	21.9	37.9	36.7	23.9	12.8	3.5
平成29年7月調査	1,790	59.3	21.6	37.7	37.2	24.0	13.2	3.5

ア 竹島への関心内容

竹島に関して、「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と答えた者(1,062人)に、具体的にどのようなことに関心があるか聞いたところ、「我が国の竹島領有の正当性」を挙げた者の割合が73.5%と最も高く、以下、「歴史的経緯」(51.7%)、「日韓関係に与える影響」(40.9%)などの順となっている。(複数回答、上位3項目)

性別に見ると、「我が国の竹島領有の正当性」、「歴史的経緯」を挙げた者の割合は男性で高くなっている。(図6、表6)

図6 竹島への関心内容

(「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と答えた者に、複数回答)

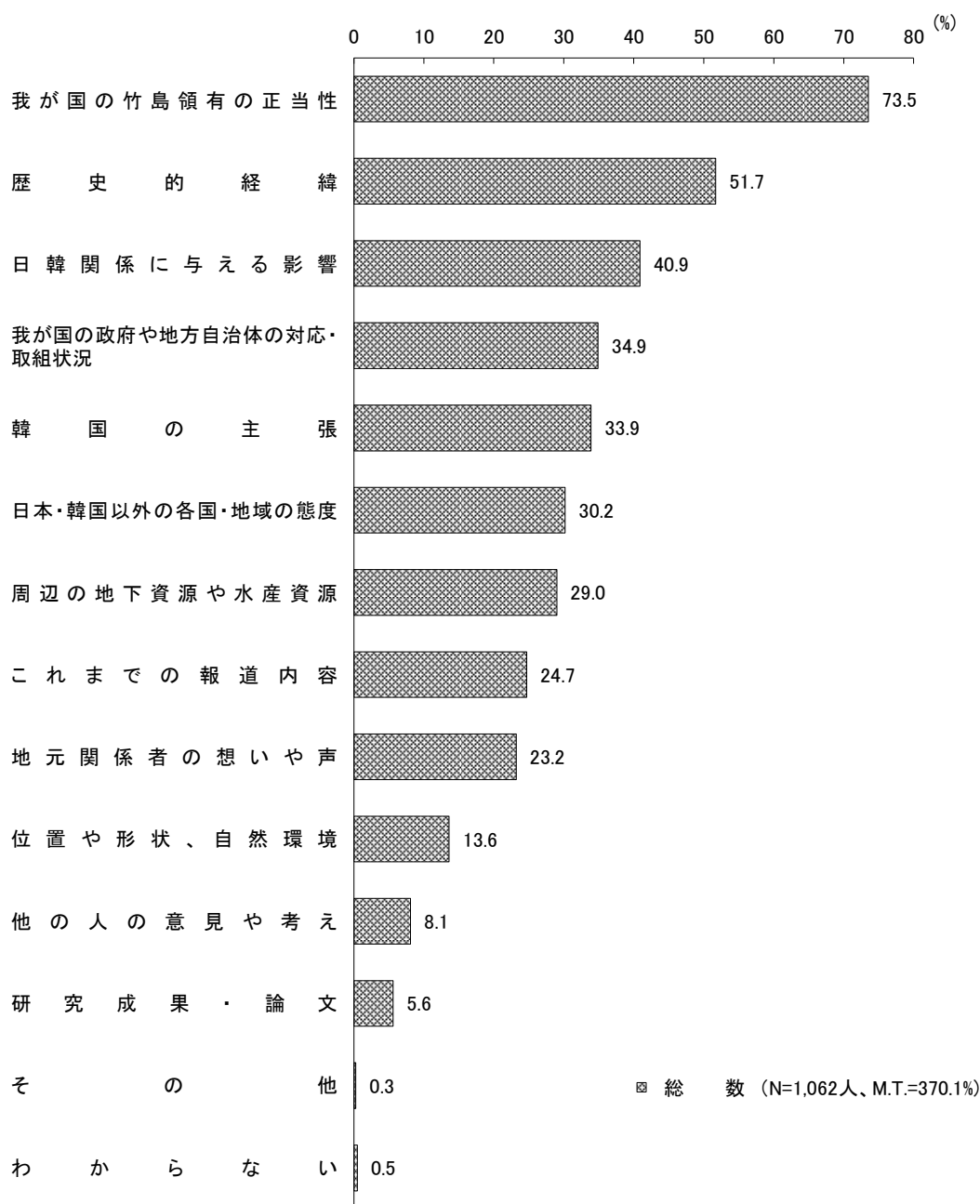


表6 竹島への

	該 当 者 数	我が 国 の 竹 島 領 有 の 正 当 性	歴 史 的 経 緯	日 韓 関 係 に 与 え る 影 響	対 我が 国 の 政 府 や 地 方 自 治 体 の 取 組 状 況	韓 国 の 主 張	態 日 本 ・ 韓 国 以 外 の 各 国 ・ 地 域 の
	人	%	%	%	%	%	%
総〔都市規模〕	1,062	73.5	51.7	40.9	34.9	33.9	30.2
大 都 市 部	267	74.5	49.4	43.1	37.5	40.8	39.0
東 京 都 区	51	76.5	49.0	43.1	39.2	45.1	45.1
政 令 指 定 都 市	216	74.1	49.5	43.1	37.0	39.8	37.5
中 都 市	445	74.8	54.2	43.4	37.1	32.4	29.4
小 都 市	252	70.2	50.0	36.1	32.9	31.7	26.6
町 村	98	73.5	51.0	35.7	23.5	27.6	19.4
〔性〕							
男 性	553	77.0	54.6	38.7	35.8	34.4	31.3
女 性	509	69.7	48.5	43.2	34.0	33.4	29.1
〔年 齢〕							
18 ～ 29 歳	69	69.6	49.3	42.0	29.0	44.9	46.4
30 ～ 39 歳	90	80.0	54.4	56.7	37.8	48.9	43.3
40 ～ 49 歳	192	76.0	51.0	42.7	39.1	40.6	41.7
50 ～ 59 歳	188	70.2	54.8	37.2	35.1	28.7	28.2
60 ～ 69 歳	240	79.2	52.1	44.6	35.0	35.0	25.0
70 歳 以 上	283	68.2	49.5	33.6	32.5	24.4	20.1
〔従 業 上 の 地 位〕							
雇 用 者	505	75.6	52.7	43.6	34.7	36.6	37.8
自 営 業 主	90	67.8	54.4	36.7	36.7	38.9	25.6
家 族 従 業 者	34	73.5	52.9	41.2	32.4	52.9	23.5
無 職	433	72.3	49.9	38.6	35.1	28.2	22.9
主 婦	217	70.0	45.6	40.1	35.0	27.2	23.5
主 夫	11	100.0	63.6	54.5	36.4	27.3	9.1
学 生	14	71.4	50.0	50.0	28.6	50.0	35.7
そ の 他 の 無 職	191	73.3	53.9	35.1	35.6	27.7	22.0
〔職〕							
管 理 ・ 専 門 技 術 ・ 事 務 職	310	75.8	51.9	46.5	39.0	42.9	39.4
管 理 職	58	79.3	60.3	34.5	36.2	36.2	36.2
専 門 ・ 技 術 職	137	76.6	51.1	54.7	39.4	50.4	39.4
事 務 職	115	73.0	48.7	42.6	40.0	37.4	40.9
販 売 ・ サ ー ビ ス ・ 保 安 職	150	74.0	59.3	41.3	34.0	40.0	35.3
農 林 漁 業 職	36	69.4	58.3	36.1	33.3	30.6	22.2
生 産 ・ 輸 送 ・ 建 設 ・ 労 務 職	131	72.5	46.6	36.6	26.0	25.2	29.0
無 回 答	2	100.0	50.0	-	50.0	50.0	50.0

表6-参考 竹島への

	該 当 者 数	我が 国 の 竹 島 領 有 の 正 当 性	歴 史 的 経 緯	日 韓 関 係 に 与 え る 影 響	対 我が 国 の 政 府 や 地 方 自 治 体 の 取 組 状 況	韓 国 の 主 張	態 日 本 ・ 韓 国 以 外 の 各 国 ・ 地 域 の
	人	%	%	%	%	%	%
平 成 25 年 6 月 調 査	1,268	67.1	53.9	※	38.6	28.7	29.6
平 成 26 年 11 月 調 査	1,203	72.7	49.8	46.3	36.0	33.1	32.6
平 成 29 年 7 月 調 査 (うち 20 歳 以 上)	1,053	73.5	51.7	40.8	35.0	33.8	30.2
平 成 29 年 7 月 調 査	1,062	73.5	51.7	40.9	34.9	33.9	30.2

※ 調査をしていない項目

関心内容

(「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と答えた者に、複数回答)

周辺の地下資源や水産資源	これまでの報道内容	地元関係者の想いや声	位置や形状、自然環境	他の人の意見や考え	研究成果・論文	その他	わからない	計(M.T.)
%	%	%	%	%	%	%	%	%
29.0	24.7	23.2	13.6	8.1	5.6	0.3	0.5	370.1
30.0	27.3	28.1	13.9	9.0	5.2	0.4	0.7	398.9
37.3	43.1	31.4	15.7	13.7	11.8	-	-	451.0
28.2	23.6	27.3	13.4	7.9	3.7	0.5	0.9	386.6
27.6	25.6	22.9	13.5	8.5	6.7	0.4	0.7	377.3
31.7	22.2	19.8	12.3	6.3	4.8	-	-	344.8
25.5	19.4	19.4	16.3	8.2	4.1	-	-	323.5
31.6	23.3	22.4	13.4	9.4	7.1	0.2	0.4	379.6
26.1	26.1	24.0	13.8	6.7	4.1	0.4	0.6	359.7
18.8	27.5	21.7	18.8	11.6	7.2	-	-	387.0
18.9	32.2	18.9	8.9	11.1	5.6	-	-	416.7
26.0	21.4	20.8	6.3	8.3	5.7	-	-	379.7
25.0	22.9	19.7	12.2	8.0	5.3	-	-	347.3
33.3	26.7	25.4	15.0	8.3	6.3	0.8	0.4	387.1
35.7	23.3	26.9	18.4	6.0	4.9	0.4	1.4	345.2
25.0	26.7	21.0	11.1	8.9	5.7	-	-	379.4
32.2	14.4	20.0	13.3	5.6	7.8	-	-	353.3
26.5	20.6	26.5	14.7	5.9	2.9	-	-	373.5
33.3	24.7	26.1	16.4	7.9	5.3	0.7	1.2	362.4
31.3	24.9	26.7	14.7	6.9	4.1	0.9	0.5	351.6
54.5	18.2	27.3	18.2	-	-	-	-	409.1
21.4	14.3	21.4	28.6	14.3	21.4	-	-	407.1
35.1	25.7	25.7	17.3	8.9	5.8	0.5	2.1	368.6
25.5	25.5	22.9	10.3	10.6	7.1	-	-	397.4
19.0	20.7	24.1	8.6	12.1	6.9	-	-	374.1
29.9	27.7	24.8	9.5	10.9	8.8	-	-	423.4
23.5	25.2	20.0	12.2	9.6	5.2	-	-	378.3
24.0	28.7	23.3	13.3	8.7	6.7	-	-	388.7
30.6	16.7	19.4	13.9	-	-	-	-	330.6
29.0	19.8	15.3	12.2	4.6	3.8	-	-	320.6
-	50.0	-	-	-	-	-	-	350.0

関心内容

(「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と答えた者に、複数回答)

周辺の地下資源や水産資源	これまでの報道内容	地元関係者の想いや声	位置や形状、自然環境	他の人の意見や考え	研究成果・論文	その他	わからない	計(M.T.)
%	%	%	%	%	%	%	%	%
35.6	25.7	23.3	14.5	5.2	4.8	0.6	0.5	328.1
33.3	26.4	22.0	15.4	7.0	4.8	0.3	0.3	380.1
29.2	24.8	23.2	13.5	8.1	5.7	0.3	0.5	370.3
29.0	24.7	23.2	13.6	8.1	5.6	0.3	0.5	370.1

イ 竹島に関心がない理由

竹島に関して、「どちらかといえば関心がない」または「関心がない」と答えた者（666人）に、関心がない理由は何か聞いたところ、「自分の生活にあまり影響がないことだと思うから」を挙げた者の割合が64.7%と最も高く、以下、「竹島に関して知る機会や考える機会がなかったから」（31.4%）、「内容が難しいから」（19.7%）などの順となっている。（複数回答、上位3項目）

性別に見ると、「竹島に関して知る機会や考える機会がなかったから」、「内容が難しいから」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。（図7、表7）

図7 竹島に関心がない理由

（「どちらかといえば関心がない」または「関心がない」と答えた者に、複数回答）

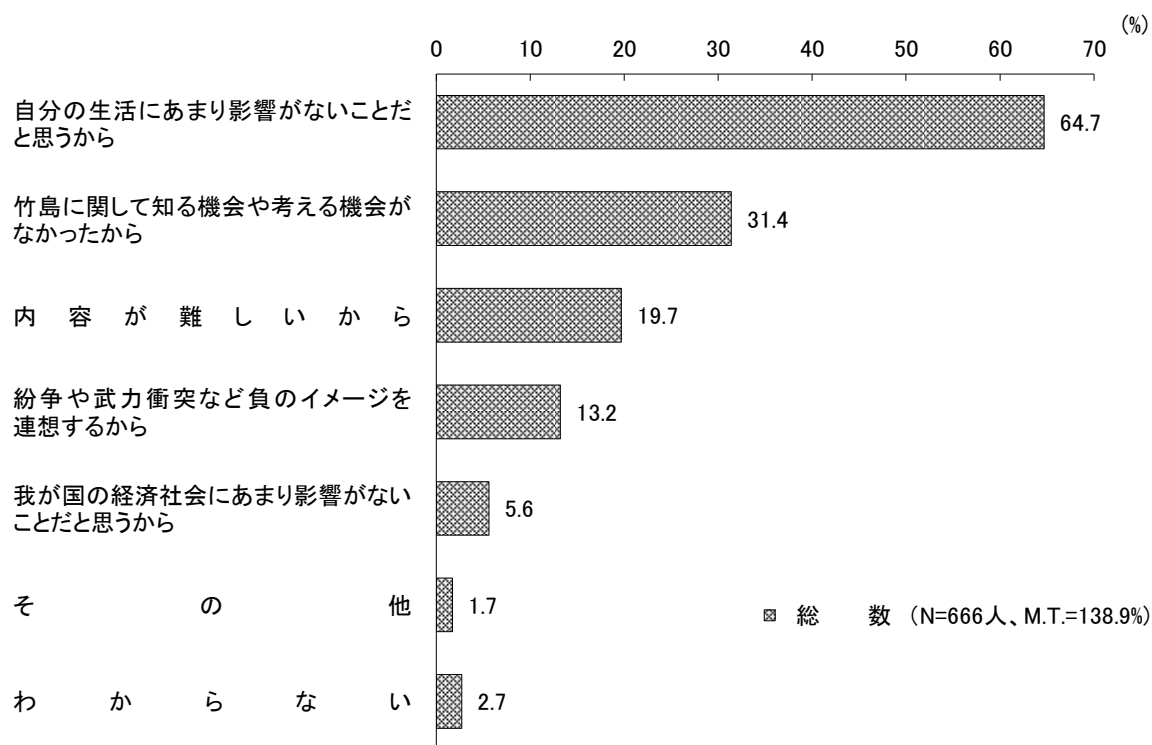


表7 竹島に関心がない理由

(「どちらかといえば関心がない」または「関心がない」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	な 自 分 の 生 活 に あ ま り 影 響 が	る 竹 島 に 関 し て 知 る 機 会 や 考 え	内 容 が 難 し い か ら	イ 紛 争 や 武 力 衝 突 な ど 負 の メ ー ジ を 連 想 す る か ら	影 響 が 国 の 経 済 社 会 に あ ま り	そ の 他	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	666	64.7	31.4	19.7	13.2	5.6	1.7	2.7	138.9
〔都市規模〕									
大都市	145	68.3	27.6	21.4	11.0	5.5	2.1	4.1	140.0
東京都区部	25	64.0	12.0	20.0	16.0	16.0	4.0	12.0	144.0
政令指定都市	120	69.2	30.8	21.7	10.0	3.3	1.7	2.5	139.2
中都市	287	65.2	33.1	19.9	12.9	6.3	1.4	1.7	140.4
小都市	160	61.3	31.9	18.1	15.6	5.6	2.5	2.5	137.5
町	74	63.5	31.1	18.9	13.5	2.7	-	4.1	133.8
〔性〕									
男性	237	67.5	26.6	12.2	13.5	6.8	2.1	3.0	131.6
女性	429	63.2	34.0	23.8	13.1	4.9	1.4	2.6	142.9
〔年齢〕									
18～29歳	80	63.8	43.8	20.0	13.8	7.5	-	-	148.8
30～39歳	110	57.3	37.3	18.2	16.4	5.5	0.9	0.9	136.4
40～49歳	118	69.5	33.9	18.6	14.4	7.6	1.7	0.8	146.6
50～59歳	89	69.7	36.0	14.6	16.9	6.7	1.1	2.2	147.2
60～69歳	117	63.2	33.3	19.7	15.4	4.3	3.4	3.4	142.7
70歳以上	152	65.1	14.5	24.3	5.9	3.3	2.0	6.6	121.7
〔従業上の地位〕									
雇用者	338	64.8	37.9	18.6	14.8	6.5	1.8	1.5	145.9
自営業主	39	64.1	28.2	15.4	15.4	-	-	5.1	128.2
家族従業者	12	58.3	25.0	16.7	-	-	16.7	8.3	125.0
無職	277	65.0	24.2	21.7	11.6	5.4	1.1	3.6	132.5
主婦	160	61.9	28.1	25.6	10.0	3.1	0.6	3.8	133.1
主夫	5	80.0	-	20.0	20.0	-	-	20.0	140.0
学生	29	69.0	27.6	24.1	17.2	17.2	-	-	155.2
その他の無職	83	68.7	16.9	13.3	12.0	6.0	2.4	3.6	122.9
〔職業〕									
管理・専門技術・事務職	140	62.9	39.3	16.4	14.3	10.0	2.9	1.4	147.1
管理職	12	58.3	25.0	8.3	8.3	25.0	16.7	-	141.7
専門・技術職	54	55.6	42.6	24.1	11.1	5.6	3.7	3.7	146.3
事務職	74	68.9	39.2	12.2	17.6	10.8	-	-	148.6
販売・サービス・保安職	124	64.5	41.1	19.4	14.5	2.4	0.8	2.4	145.2
農林漁業職	15	80.0	20.0	13.3	13.3	6.7	6.7	-	140.0
生産・輸送・建設・労務職	109	65.1	30.3	19.3	14.7	3.7	1.8	2.8	137.6
無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0

表7-参考 竹島に関心がない理由

(「どちらかといえば関心がない」または「関心がない」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	な 自 分 の 生 活 に あ ま り 影 響 が	る 竹 島 に 関 し て 知 る 機 会 や 考 え	内 容 が 難 し い か ら	イ 紛 争 や 武 力 衝 突 な ど 負 の メ ー ジ を 連 想 す る か ら	影 響 が 国 の 経 済 社 会 に あ ま り	そ の 他	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年6月調査	499	54.9	41.3	19.6	18.8	4.4	1.6	3.0	143.7
平成26年11月調査	552	64.1	35.7	20.5	15.6	8.7	3.1	1.3	148.9
平成29年7月調査 (うち20歳以上)	646	64.7	31.6	19.5	13.3	5.6	1.7	2.8	139.2
平成29年7月調査	666	64.7	31.4	19.7	13.2	5.6	1.7	2.7	138.9

4 竹島に関する広報・啓発活動について

(1) 竹島への関心を深めるための取組

広く国民が、竹島に関して、関心を深めるためには、どのような取組が必要だと思うか聞いたところ、「テレビ番組や新聞を利用した詳細な情報の提供」を挙げた者の割合が75.4%と最も高く、以下、「テレビ・ラジオCMの放映」(32.2%)、「見やすさ・わかりやすさを重視したインターネット・ホームページによる広報」(28.2%)、「歴史的資料や文献の展覧会の開催」(25.4%)などの順となっている。(複数回答、上位4項目)

都市規模別に見ると、「テレビ・ラジオCMの放映」を挙げた者の割合は中都市で高くなっている。

性別に見ると、「テレビ番組や新聞を利用した詳細な情報の提供」を挙げた者の割合は女性で、「歴史的資料や文献の展覧会の開催」を挙げた者の割合は男性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「見やすさ・わかりやすさを重視したインターネット・ホームページによる広報」を挙げた者の割合は18～29歳、40歳代、50歳代で、「歴史的資料や文献の展覧会の開催」を挙げた者の割合は50歳代、60歳代で、それぞれ高くなっている。(図8、表8)

図8 竹島への関心を深めるための取組

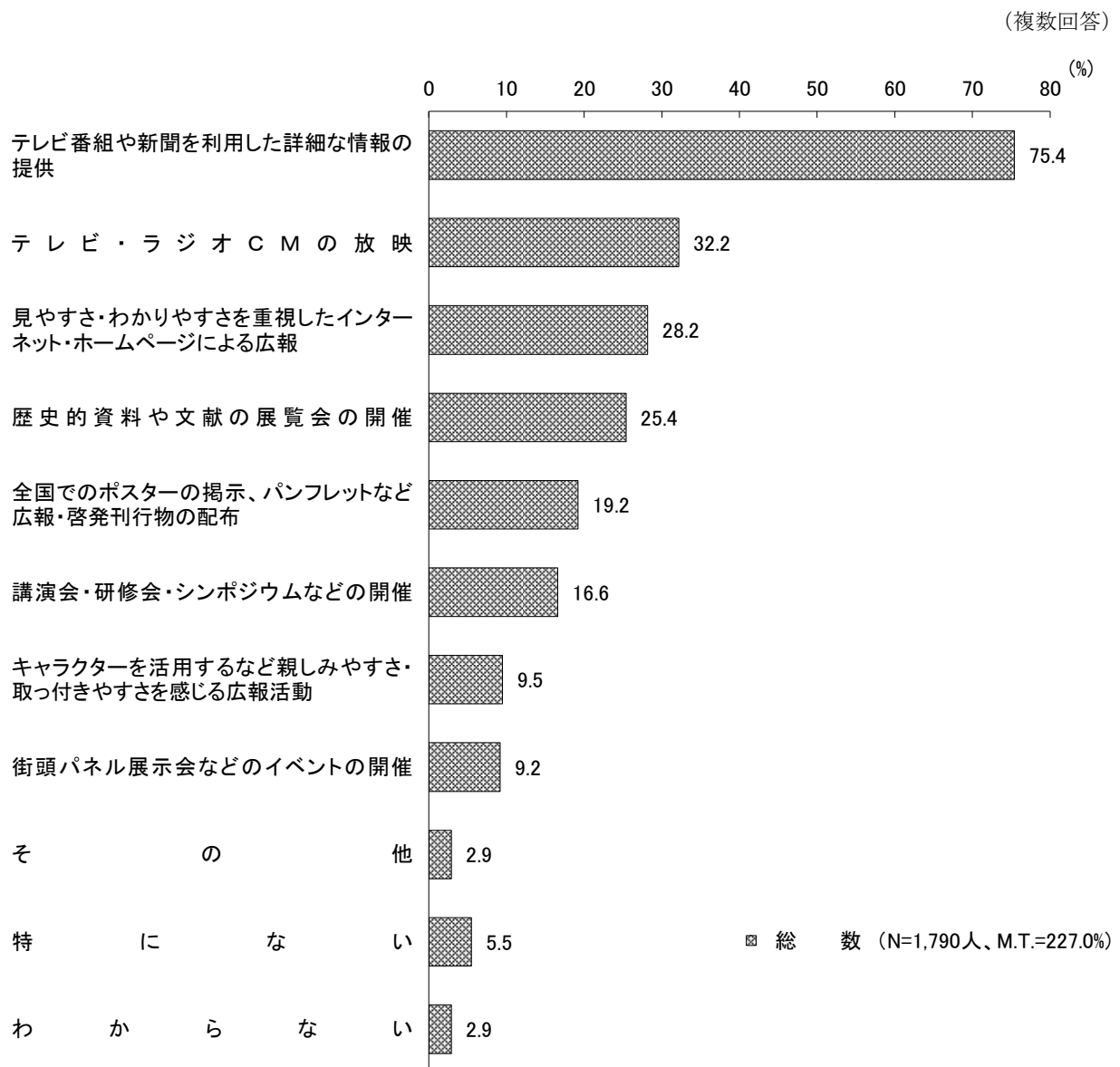


表8 竹島への関心を

	該 当 者 数	詳細な情報や新聞を利用した	テレビ・ラジオCMの放映	見やすさ・わかりやすさを重視したインターネット・ホームページによる広報	歴史的資料や文献の展覧会の開催	全国でのポスターの掲示、パンフレットなど広報・啓発刊行物の配布
	人	%	%	%	%	%
総数	1,790	75.4	32.2	28.2	25.4	19.2
〔都市規模〕						
大都市	427	76.6	33.5	30.2	26.0	21.8
東京都	79	75.9	31.6	35.4	26.6	20.3
政令指定都市	348	76.7	33.9	29.0	25.9	22.1
中都市	748	77.0	35.3	29.9	26.7	20.1
小都市	438	71.2	26.9	25.8	23.3	15.8
町	177	75.7	29.4	22.0	23.7	18.1
〔性〕						
男性	817	72.0	32.7	27.4	29.0	19.1
女性	973	78.2	31.9	28.9	22.4	19.3
〔年齢〕						
18～29歳	154	74.7	29.2	42.2	20.1	16.2
30～39歳	201	74.6	33.8	33.8	25.9	19.4
40～49歳	315	79.4	34.9	40.3	25.1	22.9
50～59歳	287	76.0	34.8	35.5	31.7	17.4
60～69歳	369	76.4	32.0	22.8	30.1	22.8
70歳以上	464	72.0	29.3	12.7	19.6	15.9
〔従業上の地位〕						
雇用者	861	77.8	33.7	34.1	28.0	19.9
自営業主	136	64.7	30.9	22.8	30.1	22.8
家族従業者	46	73.9	32.6	28.3	23.9	15.2
無職	747	74.6	30.8	22.4	21.7	18.1
主婦	397	77.6	30.5	25.7	18.9	18.4
主夫	17	88.2	23.5	-	35.3	11.8
学生	45	64.4	28.9	37.8	13.3	8.9
その他の無職	288	71.2	31.9	16.7	26.0	19.4
〔職〕						
管理・専門技術・事務職	459	80.2	32.2	37.0	31.6	21.1
管理職	71	77.5	25.4	33.8	26.8	14.1
専門・技術職	196	78.1	34.7	40.3	35.2	22.4
事務職	192	83.3	32.3	34.9	29.7	22.4
販売・サービス・保安職	283	71.0	32.5	30.7	27.6	23.0
農林漁業職	53	66.0	35.8	13.2	17.0	11.3
生産・輸送・建設・労務職	244	76.6	35.7	30.3	25.0	16.4
無回答	4	25.0	25.0	-	-	25.0

表8-参考 竹島への関心を

	該 当 者 数	詳細な情報や新聞を利用した	テレビ・ラジオCMの放映 (注1)	見やすさ・わかりやすさを重視したインターネット・ホームページによる広報(注2)	歴史的資料や文献の展覧会の開催	全国でのポスターの掲示、パンフレットなど広報・啓発刊行物の配布
	人	%	%	%	%	%
平成25年6月調査	1,784	77.8	24.0	30.7	31.2	23.8
平成26年11月調査	1,799	75.3	33.7	33.4	30.1	25.0
平成29年7月調査 (うち20歳以上)	1,761	75.6	32.4	28.1	25.6	19.4
平成29年7月調査	1,790	75.4	32.2	28.2	25.4	19.2

(注1) 平成25年6月調査では、「テレビCMの放映」となっている。
(注2) 平成25年6月調査では、「見やすさ・わかりやすさを重視したインターネット・ホームページの開設」となっている。

深めるための取組

(複数回答)

講演会・研修会・シンポジウムなどの開催	キャラクターを活用するなど親しみやすさ・取っ付きやすさを感じる広報活動	街頭パネル展示会などのイベントの開催	その他	特にな	わからな	計 (M. T.)
%	%	%	%	%	%	%
16.6	9.5	9.2	2.9	5.5	2.9	227.0
17.6	11.2	11.5	2.1	4.7	1.9	237.0
16.5	13.9	15.2	2.5	3.8	1.3	243.0
17.8	10.6	10.6	2.0	4.9	2.0	235.6
17.9	8.8	9.9	2.1	4.7	2.8	235.3
13.5	8.7	7.1	5.5	8.7	3.4	209.8
16.9	10.2	5.6	1.7	2.8	4.5	210.7
19.0	10.3	11.0	4.7	5.4	2.3	232.8
14.7	8.8	7.6	1.4	5.5	3.4	222.2
9.7	7.8	5.8	-	1.9	0.6	208.4
13.9	15.9	5.5	2.0	4.0	0.5	229.4
18.4	9.5	7.3	3.5	4.1	0.3	245.7
18.1	9.4	10.8	2.4	3.8	1.7	241.8
20.3	9.5	14.1	4.3	7.3	2.2	241.7
15.1	7.3	8.2	3.0	7.8	7.8	198.7
17.5	10.1	9.3	3.0	3.6	1.0	238.1
14.0	11.8	7.4	4.4	11.8	6.6	227.2
21.7	8.7	10.9	4.3	4.3	2.2	226.1
15.8	8.4	9.2	2.4	6.6	4.4	214.3
14.1	8.6	7.1	1.5	4.8	4.8	211.8
23.5	17.6	5.9	-	-	-	205.9
6.7	6.7	6.7	-	6.7	-	180.0
19.1	8.0	12.8	4.2	9.4	4.9	223.6
19.0	9.8	10.5	4.4	3.9	0.9	250.5
16.9	7.0	15.5	9.9	4.2	1.4	232.4
23.0	11.7	11.7	3.1	4.1	1.5	265.8
15.6	8.9	7.3	3.6	3.6	-	241.7
15.5	11.0	8.5	1.4	5.3	2.8	229.3
17.0	5.7	3.8	7.5	13.2	5.7	196.2
16.4	11.5	8.6	2.5	3.3	1.2	227.5
-	-	-	-	25.0	25.0	125.0

深めるための取組

(複数回答)

講演会・研修会・シンポジウムなどの開催	キャラクターを活用するなど親しみやすさ・取っ付きやすさを感じる広報活動	街頭パネル展示会などのイベントの開催	その他	特にな	わからな	計 (M. T.)
%	%	%	%	%	%	%
21.4	9.8	12.1	3.0	3.3	1.6	238.6
19.9	10.2	13.0	2.7	4.7	2.6	250.4
16.9	9.5	9.3	3.0	5.5	3.0	228.1
16.6	9.5	9.2	2.9	5.5	2.9	227.0

竹島に関する世論調査

平成29年7月

調査時期：平成29年7月13日から平成29年7月23日
調査対象：全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人
有効回収数(率)：1,790人(59.7%)

話は変わりますが、次に時事問題として、「我が国の領土」についてお伺いします。

1. 国家の要素

【資料1】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。

【資料1】

国家は、一般的に「領域（領土・領海・領空）」・「住民」・「政府（実効的政治権力を確立している主体）」の3つの要素から成り立っているといわれています。国家間では、国境の画定や領有関係をめぐる紛争が各地で起こっています。日本もロシアとの北方領土問題のほか、韓国とは島根県の竹島をめぐって領土問題があります。中国は沖縄県の尖閣諸島について領有権を主張しています。

Q1 国家は、一般的に「領域（領土・領海・領空）」・「住民」・「政府（実効的政治権力を確立している主体）」の3つの要素から成り立っているといわれていますが、あなたは、このことについて知っていましたか。それとも知らなかったですか。

- (66.1) 知っていた
- (28.8) 知らなかった
- (5.1) わからない

2. 竹島に関する認知

【資料2】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。

【資料2】

竹島は、日本本土から約211キロメートル離れた日本海南西部に位置し、男島（西島）と女島（東島）など複数の島から成っています。

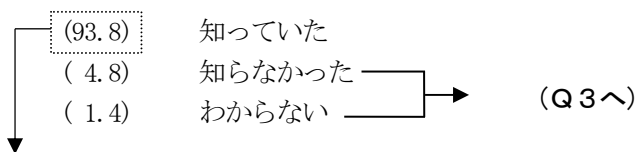
我が国が竹島について古くからその存在を認識していたことは、各種の地図や文献からも確認できます。17世紀には、日本人によって、竹島でアシカやアワビなどの漁が行われるなど、遅くとも17世紀半ばには我が国の竹島に対する領有権は確立していたと考えられます。さらに、1905年には閣議決定を行って島根県に編入し、竹島を領有する意思を再確認しました。

戦後、我が国の領土処理を行ったサンフランシスコ平和条約の起草過程において、韓国は、同条約を起草していた米国に対し、日本が放棄すべき地域に竹島を加えるように求めましたが、米国は竹島は日本領であるとして韓国の要請を明確に拒絶しました。このように戦後の国際秩序を構築したサンフランシスコ平和条約において、竹島が我が国の領土であることが確認されています。

しかし、1952年以降、韓国は、いわゆる「李承晩ライン」^{りしょうばん(イスンマン)}を国際法に反して一方的に設定し、そのライン内に竹島を取り込むとともに、警備隊員などを常駐させ、宿舎や監視所、灯台、接岸施設などを構築してきました。

韓国による竹島の占拠は国際法上何ら根拠が無いまま行われている不法占拠であり、我が国は、韓国に対して、その都度、厳重な抗議を重ねるとともに、その撤回を求めてきています。竹島は、歴史的にも国際法上も明らかに我が国固有の領土です。我が国は、竹島の領有権に関する問題を国際司法裁判所に付託することを提案していますが、韓国はこれを拒否しています。

Q2 あなたは、竹島という島があることを知っていましたか。それとも知らなかったですか。



(Q2で「知っていた」と答えた方に)

SQ1【回答票1】竹島に関して、あなたが知っていたことを、この中からいくつでもあげてください。
(M. A.)

(N=1,679)

- (60.2) (ア) 竹島は日本海南西部に位置していること
- (26.6) (イ) 竹島は男島（西島）と女島（東島）など複数の島から成っていること
- (37.3) (ウ) 竹島では、古くから日本の漁師によってアシカやアワビなどの漁が行われていたこと
- (58.0) (エ) 竹島は島根県に属すること
- (35.6) (オ) 韓国政府が過去にいわゆる「李承晩ライン」^{りしょうばん(イスンマン)}を国際法に反して一方的に設定し、そのライン内に竹島を取り込んだこと
- (63.1) (カ) 竹島には現在も韓国が警備隊員などを常駐させるなどして不法占拠を続けていること
- (59.5) (キ) 我が国が、韓国側が竹島に関する何らかの措置を行う度に、韓国に対して抗議していること
- (78.7) (ク) 竹島は我が国固有の領土であること
- (0.6) その他 ()
- (1.7) わからない

(M.T.=421.3)

(Q2で「知っていた」と答えた方に)

SQ2 [回答票2] あなたは、竹島に関して、何から知りましたか。
この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(N=1,679)

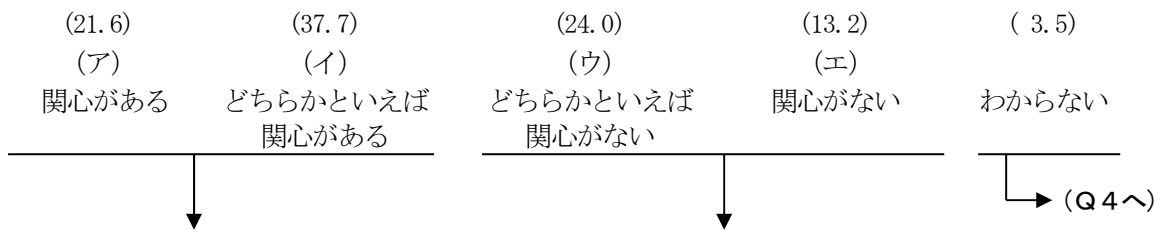
- (94.8) (ア) テレビ・ラジオ
- (58.0) (イ) 新聞
- (14.0) (ウ) 雑誌・書籍
- (2.9) (エ) パンフレットなどの広報・啓発刊行物
- (2.5) (オ) 政府のホームページ
- (7.7) (カ) 政府のホームページ以外のインターネット情報
- (8.3) (キ) 学校の授業
- (2.2) (ク) 講演会・研修会・シンポジウムなど
- (7.4) (ケ) 家族・知人
- (0.5) その他 ()
- (0.5) わからない

(M.T.=198.8)

3. 竹島に対する関心

(全員の方に)

Q3 [回答票3] あなたは、竹島に関して、関心がありますか。この中から1つだけお答えください。



(Q3で「(ア) 関心がある」、「(イ) どちらかといえば関心がある」と答えた方に)

SQa [回答票4] では、具体的にどのようなことに関心がありますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(N=1,062)

- (13.6) (ア) 位置や形状、自然環境
- (29.0) (イ) 周辺の地下資源や水産資源
- (51.7) (ウ) 歴史的経緯
- (73.5) (エ) 我が国の竹島領有の正当性
- (33.9) (オ) 韓国の主張
- (30.2) (カ) 日本・韓国以外の各国・地域の態度
- (24.7) (キ) これまでの報道内容
- (34.9) (ク) 我が国の政府や地方自治体の対応・取組状況
- (23.2) (ケ) 地元関係者の想いや声
- (5.6) (コ) 研究成果・論文
- (8.1) (サ) 他の人の意見や考え
- (40.9) (シ) 日韓関係に与える影響
- (0.3) その他 ()
- (0.5) わからない

(M.T.=370.1)

(Q3で「(ウ) どちらかといえば関心がない」、「(エ) 関心がない」と答えた方に)

SQb [回答票5] では、関心がない理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(N=666)

- (64.7) (ア) 自分の生活にあまり影響がないことだと思ふから
- (5.6) (イ) 我が国の経済社会にあまり影響がないことだと思ふから
- (13.2) (ウ) 紛争や武力衝突など負のイメージを連想するから
- (31.4) (エ) 竹島に関して知る機会や考える機会がなかったから
- (19.7) (オ) 内容が難しいから
- (1.7) その他 ()
- (2.7) わからない

(M.T.=138.9)

4. 竹島に関する広報・啓発活動について

(全員の方に)

Q4〔回答票6〕あなたは、広く国民が、竹島に関して、関心を深めるためには、どのような取組が必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (75.4) (ア) テレビ番組や新聞を利用した詳細な情報の提供
- (32.2) (イ) テレビ・ラジオCMの放映
- (9.5) (ウ) キャラクターを活用するなど親しみやすさ・取っ付きやすさを感じる広報活動
- (9.2) (エ) 街頭パネル展示会などのイベントの開催
- (25.4) (オ) 歴史的資料や文献の展覧会の開催
- (16.6) (カ) 講演会・研修会・シンポジウムなどの開催
- (28.2) (キ) 見やすさ・わかりやすさを重視したインターネット・ホームページによる広報
- (19.2) (ク) 全国でのポスターの掲示、パンフレットなど広報・啓発刊行物の配布
- (2.9) その他 ()
- (5.5) 特にない
- (2.9) わからない

(M.T.=227.0)